

## 令和4年度 学校評価結果

実施日：令和5年 5月

### 【学校評価について】

令和3年度より学校評価を行っている。学校運営評価は、課題に対して取り組んだ結果、令和3年度と比較すると結果は全体的に良くなっている。

学生による学校評価では、3段階評価となっており、評価が良い結果に出やすい。来年度からは、4段階評価を行いより客観的な結果となるように改善していく。

### 【教育理念、目的、目標】

教育理念、目的、目標についての理解は、新人教員が多く、教員間に差があるため、教員全体で理解を深める取り組みを行う。また、達成に向けて一貫した活動ができる話し合いの機会を設ける。

### 【教育課程経営】

当校の教育目標は四日市医師会設立の学校として『地域住民の保健・医療・福祉の向上をはかり、地域社会に貢献できる人材の育成』としている。現在『四日市学』という科目で地域を理解できるように取り組んでいるが、介護連携支援センター「つなぐ」等の資料も活用し、更に学びを深められるようにしていく。

### 【教授・学習・評価過程】

教授・学習・評価課程評価では、教授活動における教員間の協力体制が不十分であった。今年度より協力し合える環境整備に取り組んでおり、評価していく。

教員による授業自己評価結果は、教員の経験年数等の理由で、個人差が大きい。5つの評価項目の中で、「授業評価」が低い結果となっている。これに対しては、学生からの授業評価だけでなく、教員の科目ごとの自己評価表を作成し評価体制を整えていくとともに、他教員による他者評価も導入し客観的な評価を行っていく。

学生による授業評価に対しては、アンケートの回収率が低く、客観的なデータになっていない。この改善案としては、アンケートフォームを各試験後に案内するようにし、回収率を上げていく。

### 【経営・管理過程】

経営・管理過程の組織体制の項目では、働きやすい職場づくりが課題であった。これに対しては、学校長等による面談を実施したこと、各教員の取り組み、実習が本格的に開始したことにより、良い変化が見られるため、今後も様子を見ていく。

学校と臨地実習病院との協働体制は、昨年度困難な病棟があった。これに対しては、教務主任がその病棟の実習を受け持ち、体制を整える取り組みを行っている。また、実習要綱とは別に病棟側との必要な打ち合わせ内容などをチェックリストにし、協働体制がとれるように取り組んでいく。

シラバスの内容変更が、その年度のシラバスに反映していない科目がある。年度途中で内容等が変更になることもあるため、年度末に変更分を修正するよう依頼する。また、今後は、シラバスをホームページへ公表することも含め整備していく。

学生による学校評価では、国家試験の支援体制、指導・援助に対しては、実際に経験した3年生の評価は高い。しかし、1・2年生はわからないと評価している学生が1/4程度いる。今年度より、1・2年次にオリエンテーションを実施し、3年間を通しての支援体制を説明し実施していく。

### 【卒業・就業・進学】

卒業生の到達状況、や就職先での状況は、ホームカミングデイに参加した学生のアンケートや就職先での評判からしか把握できておらず、教育理念・目標、授業展開に活用することができていなかった。今後ホームカミングデイに参加した卒業生や卒後1年目の卒業生だけでなく、幅広くアンケート調査を行い、学校評価を行っていく体制を整える。

#### 【地域社会・国際交流】

地域社会・国際交流では、昨年度、地域貢献活動(学校周辺地区の清掃活動)を実施した。地域からの評価は良かったと感じており、今後も活動を広げて行っていく予定である。また、学校は英文の証明書発行や留学生入試の実施など行っている。今後はそれらのことを実施しているといアピールを行っていく。